



荒尾市健康づくり推進員になりませんか

高齢者の転倒による骨折予防や閉じこもり予防などのために「体力アップ体操」を実施しています。その中心となって活躍しているのが「荒尾市健康づくり推進員」です。

健康づくり推進員は公民館などで実施している体力アップ体操の指導員として活動したり、研修会や定例会などで推進員同士の交流を図ったりしています。健康に関心のある人、地域の健康づくりに貢献したい人、未経験の人でも大歓迎です。事前研修も行いますので、心配はいりません。あなたも推進員として活動してみませんか。

荒尾市健康づくり推進員協議会事務局（保健センター内） ☎ 63-1133

- 対象 ①②をどちらも満たす人
①市内に住むおおむね65歳以下の人で、健康や運動に関心のある人
②週に2回ほど活動できる人
●申込締切 6月16日(木)
●申込方法 保健センターへ電話で申し込み



食中毒にご注意ください

食中毒が起りやすい季節です。食品の衛生的な取り扱いをお願いします。室内に長時間放置せず、調理前・食事前は手を洗ってください。また、山菜狩りで有毒な野草を取り、食べたことによる食

中毒も発生しています。食用と判断できない植物は、絶対に「採らない・食べない・売らない・人にあげない」を心掛けてください。

保健センター ☎ 63-1133

平成28年度 介護保険料の納付通知書を6月中旬に送付します

高齢者支援課介護保険係 ☎ 63-1418

65歳以上で、介護保険料を普通徴収（納付書や口座振替）で納める人に、6月中旬に納付通知書を送付します。特別徴収（年金からの天引き）で納める人には、市民税の確定後、10月初旬に決定通知書を送付します。

介護保険は介護や見守りなど支援が必要となった人が安心して自立した生活を送れるように社会全体で支える制度です。ご理解とご協力をお願いします。



●介護保険料

Table with columns: 段階, 対象者, 保険料率, 年額保険料(月額), 実際の支払い金額(普通徴収の場合)

※年金収入など…合計所得金額+課税年金収入額

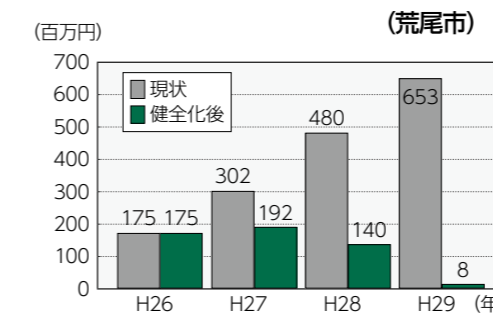
●納期限予定表

Table with columns: 期別, 納期限

健全化への取組とその効果(見込み)
①のグラフの各年度の左側は何も対策をとらない場合の荒尾市国民健康保険特別会計の収支見込です。平成29年度には累積赤字が6億5千万円ほどになると推計されています。早期の健全化が不可欠です。そこで、国保財政の健全

②徴収率の向上
徴収率向上に向けた取り組みを継続します。本市の目標収納率92・11%(現年度収納率)以上の早期達成を目指します。
③医療費適正化対策推進
右肩上がりの保険給付費の抑制に努めます。適正な資格管理やレセプト点検、重複受診指導やジェネリック差額通知などを実施し、

●グラフ①国保特別会計の累積赤字額見込み(荒尾市)



※数値は四捨五入しています。

④保健事業の推進
生活習慣病の早期発見・早期治療につなげ、重症化予防に努めます。平成29年度までに特定健診の受診率を40%以上にします。また、対前年度継続受診者を80%以上とします。
⑤法定外繰入の実施
本市の地域的な特性などを考慮したうえで、一定のルールのもと法定外繰入を実施します。
おわりに
5つの基本方針を実施することで、①のグラフの各年度の右側のように、将来的に安定した財政運営を行える見込みとなっています。誰もが安心して医療を受けることができる国民健康保険制度を維持するために、市民の皆さんには、生活習慣病の予防など日頃からの健康づくりにご協力をお願いします。

国保の今、そして未来のために 後編
荒尾市国民健康保険財政健全化計画(平成27~29年度)

先月号の広報あらおでは、国保運営は高齢化・低所得化・医療の高度化と高額化という3つの構造的課題があるため、厳しい状況が続いていることを説明しました。
今月号では「荒尾市国民健康保険財政健全化計画の後編・健全化への取り組みとその効果」について、説明します。

被保険者1人あたりの保険給付費の伸び率を3%以内に抑止する取り組みを行います。

と特定保健指導の実施率を40%以上にします。また、対前年度継続受診者を80%以上とします。

国保のコト、みんなが支え合おうね

